

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年7月5日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから7月5日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

あしたの委員会の定例会の議題は5つあります。

まず、1つ目、炉安審・燃安審の審査委員の任命です。

今年の秋に任期を迎える委員の方が多数いらっしゃいますので、新しい委員の任命について決定するということとなります。任期を向かえた方の多くは再任されますけれども、一部新任になるという方もおられます。

議題の2つ目、原子力災害対策指針の改正です。

これは4月20日の委員会でパブリックコメントにかけるということになったものでありまして、その指針の改正を決定することになります。

中身は、防災業務関係者の放射線防護対策についての記述を充実させるというものになります。パブコメを踏まえての大きな修正というのではないということになります。

議題の3つ目が、令和5年後以降の安全研究の進め方ということで、これは毎年この時期に行っている議題でありますけれども、翌年度以降の安全研究の進め方について了承を得るというものであります。

中身としては、今年度、研究プロジェクトを21プロジェクトやっていますが、来年度になると3つ終わって、1つ新しく立ち上がるといったような中身になります。新しく立ち上がるのは、1F（福島第一原子力発電所）の事故分析とも連携して行うこととなります原子炉建屋内での事故時の水素とか可燃性有機物の挙動などの研究ということになります。

議題の4つ目ですけれども、原子力発電所の審査の状況。

これは四半期に1回定例で行っている審査状況の報告ということになります。

議題の5つ目が、田中委員の海外出張の報告ということで、田中委員が先週海外出張に行ってきたので、その報告ということです。行かれたのは、ウィーンのIAEA（国際原子力機関）で行われました廃棄物合同条約関連の会合ということでもあります。

あとは、非公開の臨時会議もあります。

議題は、柏崎刈羽の特重の審査書案ということになります。今回は、非公開で議論する必要がある審査書の技術的な中身についてだけ議論を行いまして、それが了承されますと、来週13日の公開の委員会のほうに出てきまして、今回は例の核物質防護の案件もある中で、許可の手続を進めるかどうかといったようなことも含めた議論が公開のほうで行われるということになってきます。

次が、3ページ目、7月11日の（6）放射線審議会の総会です。

議題は5つでして、議題の1と2は、会長の選任といった事務的なものになります。

議題の3つ目は、ICRP（国際放射線防護委員会）の2007年度勧告について、残された課題の最新の状況が改めて報告されます。

議題の4は、毎年この時期に行っています、国際動向と書いていますけれども、IAEAとかICRPなどの動向が報告されます。

議題の5は、これまでもこの件は放射線審議会で継続的に議論をしてきたものですがけれども、自然起源放射性物質に関する現況ということの議論になります。

次が、7月11日の（7）核燃料施設等のほうの審査会合です。

今回、議題は常陽で、常陽について、これまでの説明全般、特に細かい論点についてのコメント回答が行われる会ということになります。

最後が、4ページ目、7月11日の（8）放射線安全規制研究戦略的推進事業の評価委員会ということで、これも定例でこの時期に行っているものでありまして、今年度の研究評価の進め方ということと、前年度に終了した課題の事後評価ということを行うものになります。

説明は以上です。

#### <質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。

ありがとうございました。

—了—